



森ボラ 通信

第173号 2016年10月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

■ トピックス

◆ CGC 烏柵舞の森で育樹祭について

10月1日秋晴れの下、支笏湖烏柵舞においてオイスカとユネスコの会員合わせて48名それにヒッチハイクのベルギー女性が飛び入り参加して、3年苗のアカエゾマツ約650本を植栽しました。

酒井さんの植栽指導後5グループに分かれ前日から18名の協会メンバーによって下草刈りやマーキングを終えた予定地に入り、作業服に身をかためた小学生からベテラン経験者が苗を配り



掘り根の乾きを気にしながら素早く植えて土をかけ、強く踏みつけ次の場所へ移動します。

苗の列が曲がっているとか、土のかけすぎとか根を広げないとダメとか、私たちより気を配り皆さん元気いっぱい賑やかな1時間ばかりの植林作業でした。

その後はチャランケの丘で酒井さんの座学に耳を傾けました。種子の移動に関する“3つのW”は私たちも参考になりました。記念撮影、閉会式を済ませ無事に育樹祭を終了しました。これで烏柵舞の植栽予定はすべて終了し今後は植栽した針葉樹、広葉樹の管理と成長の生長を見守りたいと思います。(文・加藤)



◆ 活動報告・北星学園大学の学生が土日にボランティア

9月10日ゼミでカーボンオフセットを学んでいる学生7名がクレジットとして植林に着目し体験をしに澄川にきました。C-3区で50本のポット苗を植栽し森林散策・勉強会を行いました。現在行われているJ-VERの森林管理は植栽ではなく間伐中心のため8年前の間伐地の現況も見てもらいました。勉強会でカルビン回路の模式図を見せたら直ちに「カルビン・ベンソン回路」ですと回答した学生がいました。経済学部の学生たちですがみんな真面目ですばらしい学生たちでした。この土日ボランティアが来年も続くよう期待します。(文・酒井)



◆ (株) かんぽ生命保険の看板設置をしました。

かんぽ生命保険からの寄付助成は“学びの森整備事業”として澄川都市環境林でスタートしました。そのコンセプトは次世代を担う幼稚園児や小学生、森しり隊の多くの友達が森を通して自然体験学習が楽しく安全に学べる環境づくりにあります。その為にここ澄川の森を整備する事を目的として進めていきます。

かんぽ生命保険会社の理念である“森の保全”を支援して行く精神と感謝の気持ちを込めて10年前から保存していたポプラの板で看板を作りました。我々会員一同その信念をもって活動してまいります。

かんぽ生命札幌支店の皆さんと澄川環境林で森づくりが出来れば幸いです。(文・事務局)



◆ “道民森づくりネットワークの集い2016”の参加報告



9月22日(木) 森づくりフェスタ2016年の一環として野幌森林公園開拓の村で開催されました。34の団体が参加し、日頃の森づくりと森と触れ合う環境づくりの成果は来場者たちの目を引いていました。

我が協会は4つのテーマを設け間伐材や森にある材料を利用してのクラフト教室。シナノキでノコ切体験をしてもらいコースターの製作。縄文時代にさかのぼり火起こし体験。化粧炭作りと子どもから大人まで楽しんで貰える参加型の出展で多くの家族連れで賑わいました。

クラフト部門では間伐材で作った材料を活用して森から集めた枝、種、実等でデザインしながら思い思いのクラフトを作りのお手伝いをしました。

フクロウとHFVA (Hokkaido Forest Volunteer Association) をモチーフにした焼き印を押したコースターやマツボックリやクリのいがを焼いた化粧炭は子供たちにとって大切なお土産となりました。火起こし体験では子どもが出来ないと大人が夢中になって汗をかき、そのお手伝いに会員も参戦しての挑戦は滑稽でもあり大昔の人の火起こしの大変さを感じてくれたでしょう！！(文・事務局)



フクロウとHFVA (Hokkaido Forest Volunteer Association) をモチーフにした焼き印を押したコースターやマツボックリやクリのいがを焼いた化粧炭は子供たちにとって大切なお土産となりました。火起こし体験では子どもが出来ないと大人が夢中になって汗をかき、そのお手伝いに会員も参戦しての挑戦は滑稽でもあり大昔の人の火起こしの大変さを感じてくれたでしょう！！(文・事務局)

フクロウとHFVA (Hokkaido Forest Volunteer Association) をモチーフにした焼き印を押したコースターやマツボックリやクリのいがを焼いた化粧炭は子供たちにとって大切なお土産となりました。火起こし体験では子どもが出来ないと大人が夢中になって汗をかき、そのお手伝いに会員も参戦しての挑戦は滑稽でもあり大昔の人の火起こしの大変さを感じてくれたでしょう！！(文・事務局)

◆ 豊かな森の証明・オニノヤガラ、ギンリョウソウとボリボリ

7月号森ボラ通信に澄川南小の石川先生が、子供たちが澄川環境林でオニノヤガラを発見して盛り上がった記事を投稿いただきました。



2016.7.19 C-7 地区 ギンリョウソウ

8月号には清澤幹事が子供たちとギンリョウソウ発見の記事を載せました。そして今9月に入り私たちはボリボリの発生を待っています。森林の期待される大きな機能は光合成ですがこれらはいずれも葉緑素をもっていません。

寄生共生して生きているので森林ボランティア活動とは無縁に見えますがこれらこそ森が豊かになった証明・指標と私は思っています。土に埋まっているミズナラ等の枯れ枝や

枯れた根があること、そして何より木々が育ち暗くなり適度な湿り気があることでオニノヤガラ類が育つと思います。木が大きくなり光が届かない林床だからこそこれらが育つチャンスがやってきたのです。澄川都市環境林は豊かな森になって来ています。（文・酒井）

◆『森ボラ図書コーナー』図書の案内

今年度初めての「森林・山村多面的機能発揮対策事業」を活用して購入した図書を紹介します。閲覧、貸出し、今後の購入希望図書がありましたら市山、櫃棒まで連絡をお願いします。（文・櫃棒）

森ボラ図書コーナー蔵書

番号	図 書 名	著 者	発行所	価格(円)	購入年月日 (2016年)
32	知りたい『北海道の木100』	佐藤 孝夫	(株)垂瑠西社	1,900	8月17日
33	歴史探訪『北海道移民史を知る!』	北国 諒星	北海道出版企画センター	1,700	同上
34	新版歩こう!『札幌の地形と地質』	前田 寿嗣	北海道新聞社	1,500	同上
35	写真でわかる『雑草の呼び名辞典』	亀田 龍吉	(株)世界文化社	1,500	10月3日
36	『イタヤカエデはなぜ自ら幹を枯らすのか』	渡辺 一夫	築地書館(株)	2,000	同上
37	北海道自然探検 『ジオサイト 107の旅』	田近 淳他	北海道大学出版	2,800	同上

◆2016年度研修旅行・北海道大学雨龍研究林見学記

10月4・5日研修旅行で北大雨龍研究林を協会員22名で訪問しました。

吉田林長から配布資料にもとづき、雨龍研究林の立地、歴史、森林の特徴、活動について概要説明を受けましたので報告します。

天然生針広混交林：森林と、そこで行われている各種のモニタリングについて見学。フェノロジー観察を行っているミズナラについて1995年から計測している調査が、温暖化の影響評価等に役立っていると説明された。関連する調査項目として、トラップを設けての種子落下調査、野ネズミ捕獲調査、地表棲甲虫調査、鳥類調査等について説明され、特にミズナラ堅果数がネズミ個体数に影響があるとのこと、森林内のそのような多様な関係性を明らかにすることが目標であると話された。



泥川流域・アカエゾマツ湿地林：平坦な地形の箇所には、川沿いに畦畔性の広葉樹林、少し離れた箇所にアカエゾマツ林が分布していて、北海道の原風景を体感することが出来た。泥炭が2.5m程度堆積しているため樹木の生長が悪く胸高直径10cmのアカエゾマツで樹齢50年に達し、最大樹齢が700年に達すること、樹木の世代交代は倒木や立木周辺の隆起部に限られている。

ミズナラ樹幹冠下搔き起こし地：ササ地を成林化されるための搔き起こし作業は重機を用いてササと表土を取り除く作業である。ミズナラ稚樹が旺盛に更新する様子が見られた。トドマツは生き残るが、アカエゾマツは難しいので植栽に頼るほうがよい。

ミズナラの天然林：1984年から行っている50本のミズナラを対象とした堅果調査。豊作・不作のパターンは不規則で予想が難しい。長期観測が重要である。この森は180～200年のミズナラが多く、このような樹齢構成は針広混交林と全く異なること、その時期に何等かの攪乱があったことが想起されるが詳細は不明である。森の力を持続させていることを実感した。（文・小笠原）

■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・酒井・佐野・高野・釣井・矢澤・和田

1. 2016年11月、12月スケジュール・・・幹事会 11月4日（金）
2. 第5回親子森林教室に向けて・・・10/16の説明者への確認作業のためのシミュレーション
3. 森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・復興の森生長調査まとめ（アーカイブス掲載）
4. 澄川南小学校・・・6年生澄川散策（10/13）、3年生樹名板設置（10/17）
5. ゴミ不当投棄の抑制策・・・札幌市みどりの管理課と抑制策の一環として看板設置計画
6. 災害時の於ける森林被害の支援に付いて・・・協会として出来る事に関係機関と模索
7. 冬季セミナーの講師依頼・・・12/13 アイビー地質情報室宮坂氏講演
8. 活動
 - 10/17 光の泉幼稚園（B-7） 10/20 第二大麻幼稚園（B-7）
9. 委員会報
 - 広報委員会・・・Windows10の講習会の開催に付いて（10/14 10：00～12：00）
講師：西野、参加者：荻田、樫棒、清澤、市山
 - 助成委員会・・・子どもゆめ基金説明会 10/31 大窪、市山参加
 - 忘年会（12/7・8）応募経過・・・9/30参加者20名
10. その他
 - ・2016年度第二回理事会（11月18日（金）15：00～16：00 アークス本社ビル）
 - ・道民森づくりネットワーク2016年の会計報告 ・研修旅行会計報告
 - ・2016年9月会計報告

■活動履歴

月 日	行事・活動地	参加数	活動内容
9月8日（木）	ラルズビル	13	定例幹事会
9月10日（土）	澄川	13	北星学園大学7名体験学習
9月13日（火）	澄川	15	E-2ニセアカシア萌芽処理
9月15日（木）	澄川	17	かんぼ生命看板完成（B-7に設置）
9月19日（土）	杉本宅	2	木工
9月20日（火）	澄川	18	キャリコ橋補強工事完了
9月22日（水）	野幌森林公園	9	道民の森づくり2016
9月23日（金）	有明	9	植栽した苗の枯損調査
9月25日（日）	澄川	9	薪割り作業・作業道砂利敷き作業・ゲスト1名
9月27日（火）	有明	11	ササチッパー処理・支柱竹200本採取
9月29日（木）	澄川	16	HM支援（東橋いちい幼稚園）・新会員橋詰さん
9月30日10月1日	支笏湖烏柵舞の森	19/18	オイスカ・ユネスコ育樹祭
10月4・5日	北大雨龍研究林	22	研修旅行
10月7日（金）	ラルズビル	11	定例幹事会
10月8日（土）	澄川	15	親子森林教室説明者の現場シミュレーション
10月11日（火）	有明	11	地拵え・植栽